

## 旭川大学をベースとした公立大学の設置に関する アンケート調査の実施について（案）

現在旭川市では、人口減少が進む中においても、活気があるまちづくりを進めていくために、旭川大学をベースにした公立大学の設置に関して、有識者の方々から様々な御意見をいただきながら検討を行っております。

公立大学は私立大学に比べて、少ない学費の負担で学ぶことができ、旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望されている、ものづくり大学に関連した学部等を新設することで、進路の選択肢が広がり、また、多くの若者でまちが賑わい、地域経済の活性化や地域が必要とする人材の育成・供給にもつながるといった効果が期待でき、意義がある取組であると考えております。

一方、旭川大学をベースに公立大学を設置した際には、新学部の設置に伴い、新たな費用が一定程度生じる可能性があり、また、公立大学の運営に当たっては、入学金や授業料などのほか、学部や学生数を基に国から市に交付される地方交付税等で運営していくことになりますが、18歳人口が減少する中では、学生数を確保し続けることができれば、大学の運営は厳しくなることが見込まれます。このため、学生が学びたいと思うような魅力的な大学であることが必要です。

こうしたことから、市として今後の検討を進めていくに当たりまして、広く市民の皆様から御意見を頂きたくアンケート調査を実施することとしましたので、大変お手数ですが、添付しております資料を御一読いただいた上で、アンケートに御回答くださいますようよろしくお願いします。

### 1 回答方法

同封しております返信用封筒（切手不要）に、記入済みのアンケート用紙を入れていただき、11月〇〇日（▲）までに返送してください。

### 2 問い合わせ先

旭川市役所 総合政策部 政策調整課

電話：0166-25-5358

Mail：seisakuchosei@city.asahikawa.lg.jp

## ①旭川大学の学部・学科の概要について

旭川大学は、2学部のほか短期大学部と大学院を有しています。各学部・学科の概要及び平成29年度時点における収容定員・現員、定員充足率等は以下のとおりです。

## 旭川市における公立大学の設置に関するアンケート調査 添付資料

学部	学科	学科等の概要	H29年5月1日時点における定員等	卒業生の就職率	就職者の市内企業定着率
経済学部	経営経済学科	S43(1968)年の大学開学以来ある学部です。グローバルな視野とローカルな視点を兼ね備え、地域でフィールド調査を行うなど生きた経済に触れ、実践的に学ぶことを重視し、地域で活躍できる人材を育成します。	定員：400人 現員：327人 充足率：81.8%	90.1%	43.8%
保健福祉学部	コミュニティ福祉学科	国家資格である「社会福祉士」「精神保健福祉士」の取得をめざし、地域社会の中で生きづらさを抱えている人や困難な状況にある人たちに寄り添い、支援し、地域のまちづくりに貢献できる福祉の専門家を育成します。	定員：180人 現員：107人 充足率：59.4%	94.2%	33.0%
	保健看護学科	国家資格である「看護師」「保健師」の取得をめざし、地域で暮らすだれもが健康な毎日を送れるように、多様化する看護の役割やさまざまな場面でのニーズに応えることのできる保健・医療のエキスパートを育成します。	定員：240人 現員：270人 充足率：112.5%		
短期大学部	生活学科 生活福祉専攻	国家資格である「介護福祉士」の取得をめざし、日常生活を送ることに困難がある高齢者や障がいがある方に心身の状況に応じた介護を行い、生きがいをもって毎日を過ごせるようにサポートができる専門家を育成します。	定員：100人 現員：42人 充足率：42.0%	96.4%	60.4%
	生活学科 食物栄養専攻	国家資格である「栄養士免許」が卒業と同時に取得できます。病院や福祉施設、給食センター、保育所などで食事の管理と栄養指導を行う食のスペシャリストを育成します。田植えから収穫まで行う農業体験実習もあります。	定員：100人 現員：99人 充足率：99.0%		
	幼児教育学科	国家資格である「幼稚園教諭2種免許」と「保育士」が卒業と同時に取得できます。子どもの心を理解し寄り添うことができる保育者をめざし、地域での豊富なボランティア体験や実習を通して、人間性や実践力を養います。	定員：200人 現員：177人 充足率：88.5%	96.6%	58.9%
大学院 地域政策研究科		地域を担う人材の実践的な育成を目的に、在職者の方にも通学しやすいよう昼夜開講制で研究の場を提供しています。H29からは地域と関わりがより明確となるよう、研究科の名称を「地域政策研究科」に変更しました。	定員：14人 現員：9人 充足率：64.3%	-	-

※就職率及び市内企業定着率については、平成29年3月に卒業した学生（進学者等を除く。）について記載しています。

## ②旭川大学の地域に関わる活動事例について

### まちづくりに関わる事業

- 豊岡まちづくり推進協議会との交流事業  
～地域コミュニティの活性化と住民交流の増大を目指した地域活性化イベントに参加し、世代間交流を促進。
- 世代間交流事業「むかし遊びを楽しもう」  
～永山支所や社会福祉協議会等と協働し、大学近隣の地域に居住する高齢者と子どもたちの交流を促進。
- 7条緑道「まちなかキャンパス」事業  
～月に1回程度オープンセミナーを開催し、研究成果を発表するとともに交流会を開催。
- 旭川市委託事業「私の未来プロジェクト」  
～命の大切さや、親となることの意識を育む機会を出前講義や体験実習による提供。
- 世界にひとつだけの、「君の椅子プロジェクト」  
～新しい生命誕生の喜びと幸せを地域で分かち合うため、生まれてきた子ども達に椅子を贈る取組を実施。

### まちの分析

- 旭川市と近隣8町の商業構造分析  
～小売業に着目し、統計分析や聞きとり調査から、近隣8町における旭川市の果たす役割を研究。
- OAE(あえる)事業  
～週末や平日の夜に、市民を対象にした、コミュニティ福祉や経済経営等の身近なテーマや直面する問題を取り上げた講座を毎年開催。
- 旭川大学地域研究所による研究  
～地域課題の調査研究のほか、地域再生研究会やシンポジウムの開催など、地域の発展に貢献する取組を実施。
- 冊子「アブカシズム」発行  
～旭川中心街の10本の中小路を取材し、「歩いて旭川らしさを」知る冊子を発行し、中小路のノスタルジックな魅力を電子書籍で発信。

③ものづくり系学部について（検討中）

ものづくり系学部における人材育成像

ものづくり系学部のイメージ

旭川が有する地理的環境や自然環境，旭川家具をはじめとする産業基盤など，豊富な地域資源をフィールドとして活用しながら，感性と創造力を磨ける特色ある学部の設置を検討しています。

- デザインから経営などの幅広い分野の修得により，創造的で自律した人材を育成します。
- 地域が抱える様々な課題を発見し，多角的かつ複合的にアプローチし，柔軟な発想を持って解決策を導ける人材を育成します。
- 国内のみならず，世界に目を向けることのできる広い視野と深い洞察力を備え，グローバル社会に適應できる人材を育成します。

④経営シミュレーションについて

右の表は，現在の旭川大学を公立化した場合の経営状況をシミュレーションしたものです。

＜前提条件＞

- 公立化した以降の学生数は，平成28年度の大学と短大を合わせた定員数1,254人（定員充足率が100%）となった場合をn年度として試算しています。
- 入学金や入学検定料，授業料については，道内他の公立大学や類似の公立短大の額などを基に設定し，経常費補助金については，現在の旭川大学と短大の学科を基に国から市に地方交付税として交付される額と同額を，市から大学に対して交付することを想定しています。
- 支出については，平成28年度の大学と短大を合わせた額と同額としています。

＜シミュレーション結果＞

平成28年度決算の収支がマイナス約9,100万円だったものが，公立化した場合のn年度ではプラス約3億5,000万円となると見込まれます。

項目	公立化前	公立化後
	平成28年度	n年度
入学定員充足率	81.1%	100.0%
学生数(人)	1,018	1,254
学生納付金(千円)	1,056,657	918,943
手数料(千円)	15,214	8,912
経常費補助金(千円)	256,544	844,116
その他(千円)	54,151	54,151
教育活動収入計(千円)	1,382,564	1,826,200
教育活動支出計(千円)	1,473,646	1,473,646
収支差額(千円)	▲91,083	352,475

※千円未満切り上げのため，合計が一致しない場合があります。

参 考

⑤市への要望書提出の経過について

日付	内容等
平成23年11月	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書提出（要望要旨） 豊かな自然を有する旭川地域の独自性を強く打ち出し，デザイン，木工芸，建築関連，金属工芸，農業，食品関連産業など，広く「ものづくり」を建学の精神に据えた公立大学開設に向けて具体的にご検討いただけますようお願い申し上げます。
平成24年11月	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書提出（要望要旨） 平成25年度の旭川市予算に公立「ものづくり大学」についての調査費を計上し，議論の場をつくって下さい。
平成25年2月	旭川大学から要望書提出（要望要旨） 旭川市におかれましては，公立大学設置を検討するに当たって，本学園が有するこれまでの大学経営と実績を評価された上，道北の中核市として次世代のための新たな大学の在り方を本学園と共に再創造するための協議をさせていただくことを要望するものです。
平成28年2月	旭川大学から要望書提出（要望要旨） 旭川市長におかれましては，かかる本学園の置かれた状況，使命と役割にご理解と共感をいただき，旭川大学の公立大学法人化を推進くださいますようお願いするものです。

## アンケート調査票

\* あてはまる番号（数字）に○印をつけてください。

Q 1 あなたの性別についてお尋ねします。

1. 男性

2. 女性

Q 2 あなたの職業をお尋ねします。

1. 高校生
2. 大学生・専門学校生
3. 会社員・団体職員（経営者・役員含む）
4. 公務員
5. 農林業
6. 自営の商工・サービス業など
7. 主婦・主夫
8. 無職
9. その他（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

Q 3 あなたの年齢をお尋ねします（平成29年10月1日現在）。

1. 18～19歳

2. 20～29歳

3. 30～39歳

4. 40～49歳

5. 50～59歳

6. 60～69歳

7. 70歳以上

Q 4 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることをご存知でしたか。

1. 前から知っていた

2. このアンケートで初めて知った

Q 5 旭川大学をベースにした公立大学の設置についてどう思いますか。

1. 妥当である
2. 概ね妥当である
3. どちらともいえない
4. あまり妥当ではない
5. 妥当ではない
6. わからない

Q 6 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関しての課題は何だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。

1. 少子化が進む中での学生の確保
2. 学生にとって魅力的な学部・学科の存在
3. 公立大学移行時の市の財政負担
4. 赤字運営時における市の財政負担
5. 大学卒業後の市外への人材流出
6. 学部内容に見合った教員の確保
7. 課題はない
8. その他（具体的な内容を下に記載してください）

〔具体的に〕

Q7 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください

1. 地域が必要とする人材の育成
2. 世界でも活躍できる人材の育成
3. 先端技術・知識，創造能力の習得やそれに係る専門的研究
4. 資格取得に力を入れる大学【具体的な資格内容： 】
5. 就職に関する手厚いサポート
6. 社会人の学び直しの場合
7. 地元の高校や企業との連携
8. 地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）
9. 特になし
10. その他（具体的な内容を下に記載してください）

〔具体的に〕

Q8 現在、市が検討している別紙のものづくり系学部の案についてどう思いますか。

1. 良い
2. 概ね良い
3. どちらとも言えない
4. あまり良くない
5. 良くない
6. わからない

※選択した具体的な理由について御意見があれば記入してください。

〔御意見〕

Q9 旭川大学をベースにした公立大学の設置などについて、御意見がありましたら記入してください。

〔御意見〕

◎御協力ありがとうございました。